

特別展の見どころ

ポイント① 道内初公開!

普段は見ることでできない貴重な名品が道内で初めて展示されます

ポイント② 豪華絢爛!

大正・昭和を彩った日本を代表する名だたる画家たちの作品が一堂に並びます



学芸員
ふくだ えりこ
福田 絵梨子

近代洋画の歩み

■大正時代 日本洋画の成熟

明治以後に本格的に流入した西洋由来の「油彩画」は、第一次世界大戦後、美術家たちの海外留学や渡航の大衆化によって日本にもたらされます。その後のヨーロッパとの文化交流により日本の油彩の技術は一気に花開きました

■昭和時代 日本と西洋のはざま

日本の洋画界は、西洋的なものと日本的なものとはさまで独自の表現を獲得していきます。当時、国内に影響を与えたのは、アンリ・マチスに代表される表現者の個性を重視した「フォービズム」の作品でした。これにより、日本洋画界は鮮烈な色彩と、力強い筆遣いが特徴的な「日本的フォーブ」といわれる画家を多数輩出していくことになったのです

■苦小牧と近代洋画

昭和の巨匠たちは、その後多くの芸術家を指導する立場で後進を育て、苦小牧ゆかりの画家たちもその影響を色濃く受けています。本展では、巨匠たちと郷土の画家とのつながりについても紹介します（P25美術博物館だよりのコーナーをご覧ください）



児島善三郎
《真美人草》
1939年
公益社団法人
糖業協会蔵



須田国太郎
《風景(樹間)》
1947年
公益社団法人
糖業協会蔵

もっと知りたい

近代洋画の世界

特別展をより楽しむためのイベントを紹介します

■記念講演会

- 日 10月11日(日)13時~14時30分 所 美術博物館
- 内 田中淳氏(東京文化財研究所 副所長)が近代洋画の魅力を語る
- 定 80人 申し込み順 申 前日までに電話で

■ギャラリートーク

- 日 9月27日(日)、11月3日(火)、11月22日(日)13時から 所 美術博物館
- 内 当美術館の学芸員が参加者と一緒に回り作品の魅力などを解説

この他にも、油絵教室などさまざまなイベントがありますのでぜひご覧ください!

お得な前売り券は
9月18日(金)まで
販売!



観覧料

一般=600円(500円)、
高大生=400円(300円)、
小中学生=無料
※()内の料金は前売り、団体料金

前売り券販売場所

美術博物館、生涯学習課、各コミセン、
勇払出張所、アイビー・プラザ

広報とまこまいは、誰もが使いやすいように、ユニバーサルデザインフォントを使用して作成しています。また、植物油インキ、古紙100%再生紙を使用し、環境に配慮しています。



アイコンの見方

- 日 とき 所 ところ 内 内容
- 定 定員 申 申し込み 詳 詳細
- 電 電話番号 HP ホームページアドレス

今年で60回となるとまこまい港まつりが8月7日から3日間開催され、「港の明かりまつりが灯す60年」をテーマに延べ36万9千人が苦小牧の夏を楽しみました。毎年さまざまな踊りや神輿などで、祭りを盛り上げてくれるポトカーニバル。今年は2匹の虎が迫り来る巨大な山車も登場し、沿道の人たちを大いに魅了しました。



表紙から

「とまこまい港まつり」